

放牧シンポジウム開催要領

テーマ：鹿児島から九州の放牧を考えるシンポジウム

趣旨：食料生産、特に日本のタンパク質生産の中心をなす牛肉生産や牛乳生産が、自然共生、省力化、食の安全、動物の福祉、飼料自給率の過度な低下、高コスト経営、循環型農業等の問題を抱え、過渡期を迎えている。九州の気候を活かし放牧による畜産を再考し、進化させるために生産者だけでなく、消費者や食品業界から広く放牧を支える気運を醸成する。

主催：一般社団法人日本草地畜産種子協会

後援：鹿児島県有機農業協会

日時：2018年3月22日（木）13：00～18：00

場所：鹿児島市中央公民館ホール

〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町5-9 TEL：099-224-4528

- | | |
|--|-------------|
| 1. 開会 挨拶 | 13:00～13:05 |
| 2. 講演（座長：中西 良孝 氏（鹿児島大学）） | |
| （1）基調講演「放牧酪農50年：地域資源を活用した放牧の可能性」
竹中 勝雄 氏（上床牧場） | 13:05～13:40 |
| （2）記念講演「中洞牧場の挑戦と現在」
中洞 正 氏（中洞牧場長） | 13:40～14:15 |
| * 休憩 | 14:15～14:25 |
| 3. 情報提供（座長：後藤 貴文 氏（鹿児島大学）） | |
| （1）「放牧での牛肉生産ポテンシャルと九州での放牧事例について」
後藤 貴文 氏（鹿児島大学） | 14:25～15:00 |
| （2）「離島におけるICTを取り入れた放牧の可能性」
田川 昌義 氏（一般財団法人小値賀町担い手公社） | 15:00～15:35 |
| （3）「ヒトの健康へつながる放牧で生産される牛肉」
斎藤 糧三 氏（医師、日本機能性医学研究所、精肉店 Saito Farm） | 15:35～16:10 |
| 4. 話題提供 | |
| （1）放牧認証制度について
（一社）日本草地畜産種子協会 | 16:10～16:25 |
| 5. 総合討論 | 16:30～17:00 |

（なお、当該シンポジウムの一部は一般財団法人キャノン財団助成研究「牛肉生産システムの大構造改革：科学と国土をフル活用した大革新」の成果を含んでいます。）